



武蔵だより

令和8年6月24日

第4号

生徒数 290名

学校教育目標 「自律・共生」 目指す学校像 「一人ひとりが輝く 自律と安心のキャンパス」

心のスクリーンに刻まれたもの —学校総合体育大会を終えて—

校長 遠藤 誠

学校総合体育大会が終了しました。今年度も多くの会場で、本校生徒の懸命に競技へ取り組む姿を見ることができました。

運動部活動に所属する3年生にとっては、これまでの努力の成果を発揮する最後の大会でした。勝敗はもちろんありますが、それ以上に心に残ったのは、仲間を信じ、励まし合いながら最後まで全力を尽くす姿でした。

私はすべての会場で応援をしましたが、特に印象に残ったのは試合中の「声」です。苦しい場面で仲間を励ます声、失敗しても「大丈夫」「次がある」と支える声、仲間のプレーを心から称える声。その一つ一つが選手たちに力を与え、チームを前へ進ませていました。

女子バレーボール部の試合では、接戦を制して勝利した後、観客席から大きな拍手が送られました。その瞬間、選手たちの心には、これまで仲間と汗を流してきた日々や、苦しい練習を乗り越えてきた時間がよみがえったのではないかと思います。こうした経験は、きっと生涯忘れることのない「心のスクリーン」の一場面として残り続けることでしょう。

また、どの会場でも感じたことがあります。それは、本校の生徒たちが多くの方々に支えられているということです。保護者の皆様、地域の皆様、卒業生の皆さん、そして仲間たちが、それぞれの場所から熱い声援を送ってくださいました。その姿からは、「子どもたちを応援したい」「頑張りを支えたい」という温かな思いが強く伝わってきました。

私は改めて、本校は本当に恵まれた学校であると感じました。選手だけが戦っていたのではありません。仲間、保護者、地域、顧問の先生方を含め、学校全体で戦った大会だったと思います。

結果は後に残ります。しかし、それ以上に大切なのは、この大会を通して何を学び、どのように成長したかです。仲間への感謝、最後まで諦めない心、支え合うことの大切さ。子どもたちには、この大会で得た経験をこれからの学校生活や人生につなげてほしいと願っています。

大会期間中、本校生徒を支え、応援して下さったすべての皆様に心より感謝申し上げます。これからも武蔵中は、生徒たちの成果を第一に考え、地域に根ざした学校づくりを進めて参ります。今後とも、ご理解とご協力をお願いします。

学校総合体育大会入間市予選会 (6/20, 22, 23)

■野 球	1 回戦	惜 敗	
■サッカー		優 勝	<県大会出場>
■バレーボール		第3位	<地区大会出場>
■男子ソフトテニス	個 人	第3位	(深澤 琉③・川口 知哉③ ペア) <県大会出場>
	団 体	第3位	
■女子ソフトテニス	個 人	惜 敗	
	団 体	第3位	
■卓 球	個 人	第3位	(須永 瑛心③)
	団 体	惜 敗	
■剣 道	団 体	ベスト8	(栗原 涼太郎②・寺本 工②)
	個 人	惜 敗	

丸数字：学年，敬称略

サッカー部、男子ソフトテニス部が、県大会に出場します。バレーボール部は地区大会に出場し、県大会を目指します。健闘を祈ります！



生徒朝会 (壮行会)

学校総合体育大会、お疲れ様でした。
3年間、仲間と共に流した汗や涙の集大成でしたね。
これからの学校生活にも活かしていきましょう！！